

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

**事業名** 新 **中山間地域まるごとスマート農業化実証  
事業費補助金**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農政課スマート農業推進係 電話番号：058-272-1111(内 2808)

E-mail： c11411@pref.gifu.lg.jp

### 1 事業費 16,100千円 (前年度予算額：0千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	16,100	0	0	0	0	0	0	0	16,100
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ロボット技術や AI 等を活用して、農業の省力化・効率化等を行うスマート農業技術を普及推進する中で、より省力化・効率化等された農業の実現に向けては、機械本体の性能のみならず機器・機械と農業者をつなぐ通信インフラが重要であるが、導入コストや維持が課題となっている。

そこで、機器・機械と農業者をつなぐ通信インフラを地域で整備し、複数の経営体が共通の通信インフラを利用する実証を行い、導入手法や効果を明らかにすることで、スマート農業技術の普及推進につなげる。

#### (2) 事業内容

- ① LPWA を活用した地域ネットワーク構築実証に係る支援 (15,100 千円)
- ・ 通信インフラが脆弱な中山間地域において、LPWA を活用し、地域の農業経営体の誰もが利用できる仕組みづくりを行う「LPWA 実証農場」の設置に必要な機器・機械等の導入経費を助成する。

②普及のための活動支援（1,000千円）

- ・各実証農場で実証した効果の検討やその効果を発信し、地域へ普及させるための実演会等の開催に必要な経費を助成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ①補助率：県 2/3 以内 ②補助率：定額

効果を明らかにし、スマート農業技術を地域へ普及させることは県農業を維持・発展するために必要であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	16,100	実証農場の設置に係る機器・機械等の導入経費 実演会、研修会等の開催経費
合計	16,100	

**決定額の考え方**

既存事業（スマート農業技術導入支援事業費補助金）で優先順位を付けて対応すべき内容であることから計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置付け

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019～2023年度）  
Ⅱ－3－（3）－② 「未来につながる農業づくり」の推進
- ・ぎふ農業・農村基本計画（2015～2020年度）  
第5章 3つの基本方針に基づく具体的な取り組み
- ・岐阜県スマート農業推進計画（2019～2023年度）

(2) 後年度の財政負担

- ・平成30年度に、令和5年度までの5年間のスマート農業技術の導入・普及を推進する「岐阜県スマート農業推進計画」を策定し、次年度以降も継続した支援が必要。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	中山間地域まるごとスマート農業化実証農場設置事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村 （理由）市町村を中心として、地域に合った現場でのスマート農業技術の普及を円滑に図るため。
補助事業の概要	（目的）効果を明らかにし、スマート農業技術の普及を加速化させることで課題解消につなげる。 （内容）効果を明らかにする「実証農場」の設置に必要な農業機器・機械等の導入を支援。
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） （内容）2／3以内 （理由）早い課題解消に向けて、他事業と比較して補助率をかさ上げ。
補助効果	効果を明らかにし、地域へ技術を普及することで、課題解消が進む。
終期の設定	終期年度 令和5年度 （理由）岐阜県スマート農業推進計画の目標年度

### （事業目標）

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

導入効果を明らかにすることで、地域でのスマート農業技術の普及が進み、課題解消が進んでいる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R元年度末)	目標 (令和2年度末)	目標 (終期)
①スマート農業技術導入経営体数	238		550

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度補正 (要求)
補助金交付実績	0千円	0千円	0千円	0千円	32,000千円

### （前年度の成果）

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
----------------------

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) ○ : 必要性が高い      △ : 必要性が低い
(評価)      労働力不足に対応していくためには、最先端のスマート農業技術を導入し、徹底した作業の省力化・効率化を図ることが重要であり、そのために、技術の効果を明らかにする必要がある。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) ○ : 概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △ : まだ期待どおりの成果が得られていない
(評価)
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) ○ : 効率化は図られている      △ : 向上の余地がある
(評価)

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
---------------------